

Week of September 20, 2026 - Grace Reigns　　Small Group Study 15

知り合う

他の人が決めたことや起こしたミスの尻拭いを、あなたが代わりに対応しなくてはならなかった経験はありますか？ その時、どのように対処しましたか？

聖句　ローマの信徒への手紙 5:12-21（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

12 このようなわけで、一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入り込んだように、すべての人に死が及んだのです。すべての人が罪を犯したからです。13 確かに、律法が与えられる前にも罪は世にあったが、律法がなければ、罪は罪と認められません。14 しかし、アダムからモーセまでの間にも、アダムの違反と同じような罪を犯さなかった人の上にさえ、死は支配しました。このアダムは来るべき方の雛型です。15 しかし、恵みの賜物は過ちの場合とは異なります。一人の過ちによって多くの人が死ぬことになったとすれば、なおさら、神の恵みと一人の人イエス・キリストの恵みによる賜物とは、多くの人に満ち溢れたのです。16 この賜物は、一人の犯した罪の結果とは異なります。裁きの場合は、一つの過ちであっても、罪に定められますが、恵みの場合は、多くの過ちがあっても、義と認められるからです。17 一人の過ちによって、その一人を通して死が支配するようになったとすれば、なおさら、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人たちは、一人の人イエス・キリストを通して、命にあって支配するでしょう。18 そこで、一人の過ちによってすべての人が罪に定められたように、一人の正しい行為によって、すべての人が義とされて命を得ることになったのです。19 一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたように、一人の従順によって多くの人が正しい者とされるのです。20 律法が入り込んで来たのは、過ちが増し加わるためでした。しかし、罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ち溢れました。21 こうして、罪が死によって支配したように、恵みも義によって支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命へと導くのです。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 12節によると、罪と死はどのようにして最初に世界に入り、なぜ死はすべての人に広がったのでしょうか？また14節で、このサイクル（連鎖）を始めた一人の人物とは誰であり、彼は誰の「型（ひな型）」となっていますか？

2. 15節から17節にかけて、パウロは2つの異なる結果を対比させています。「一人の人の違反（罪）」がもたらした結果は何でしたか？そして、イエス・キリストによってもたらされた「賜物（たまもの）」による全く異なる結果とは何でしょうか？

3. 18〜19節によると、「一人の人の不従順」は「一人の人の従順」とどのように対比されていますか？また、それぞれの状況において、「多くの人」に与えられる最終的な状態（結末）は何ですか？

4. 20〜21節を見ると、そもそもなぜ「律法」は入って来た（与えられた）のでしょうか？また、その結果として罪が増し加わった時、恵みはそれに対してどのように働きましたか？

分かち合い

話し合い　その１

武牧師は、アダムは全人類を代表して行動した大使のような存在であったと説明しました。そのため、アダムが罪を犯した時、私たちは皆、その罪の性質を受け継ぐことになったのです。私たちが単に個人的な過ちを犯しているというだけでなく、私たち全体に新しいいのちを与えてくださる「新たな代表」として、実際にイエスを必要としているのだと理解することは、なぜ重要なのでしょうか？

話し合い　その2

武牧師はペテロがイエスを否認したにもかかわらず回復させられた例を挙げながら、「罪が増し加わるところには、恵みはさらに満ちあふれた」と強調しました。自分の失敗のせいで、自分が二流のクリスチャンのように感じてしまう時、「神の恵みをせき止めるものは何もない」と知ることは、罪を告白して神の元へ立ち返るために、私たちをどのように励ましてくれるでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。